



市制施行90周年記念

第43回

箱館

五穀部祭

開催日 2012年

5/19(土)20(日)

日本の夜明け

ペルリ提督



アメリカ東インド艦隊司令長官として、1853年(嘉永6年)6月、マシュー・ペルリ提督は軍艦4隻を率いて浦賀沖に来航。日本に開国を求める。内陸に向けられた備砲からは数多くの空砲が撃たれ、江戸市民を驚かせるとともに多くの見物客を集めた。翌1854年3月、日米和親条約が締結。開港が決まった箱館へは同年4月に来航した。1858年、64歳にて没。

1836年(天保7年)江戸下谷生まれ。幕府海軍伝習所を経てオランダに留学。帰国後は幕府海軍副総裁に。1868年(明治元年)の江戸城明け渡し後、艦隊と旧幕残党を率いて箱館に渡り五稜郭を占拠。旧幕府家臣による蝦夷地開拓を目指す新政府軍との戦いに敗れ降伏。後に開拓使出仕となり千島樺太交換条約を締結した。1908年明治41年、72歳にて没。

榎本武揚



土方歳三



1835年(天保6年)武州多摩郡石田村、現在の東京都日野市に生まれる。文久3年の幕府兵募集に参加して上洛。同郷の近藤勇と新選組を結成し副長となる。鳥羽伏見の戦いで敗走から会津、仙台へと転戦。そこで榎本艦隊と合流し蝦夷地へ向かう。1869年(明治2年)5月11日、新政府軍による箱館総攻撃の際に銃撃を受け、35歳の若さで壮烈な最期を遂げる。

黒田了介(清隆)



1840年(天保11年)鹿児島城下に下級武士の長男として誕生。箱館戦争では征討軍の陸軍参謀として、箱館総攻撃を指揮。五稜郭落城寸前、榎本武揚から「万国海洋全書」を贈られその翻訳と書大義のもと榎本の救命活動を行った。戊辰戦争後北海道の開拓に尽力し、1888年(明治21年)内閣総理大臣となった。1900年(明治33年)、61歳にて没。

【開港場と箱館奉行】

1853年(嘉永6年)、ペルリ提督率いるアメリカ艦隊の来航により、翌年、日米和親条約が締結。箱館は伊豆の下田とともに開港場となりました。幕府は箱館奉行を派遣し、奉行所を箱館山の麓に開設します。

箱館奉行の任務は、箱館の統治や開港場での外国との応接、蝦夷地の開拓など多岐にわたり、特に天然の良港である反面、

特徴的な地形により防衛上の問題がある箱館の防備強化が急がれました。奉行は港灣入り口の防備のために、大砲を備えた「弁天台場」の建設を計画すると同時に、箱館山麓で港からも至近の位置にある箱館奉行所を内陸に移転することを計画しました。

こうして1857年(安政4年)、五稜郭の建設が始まり、7年後の18

64年(元治元年)6月、箱館奉行が郭内に移転した奉行所で執務を開始。五稜郭は名実ともに蝦夷地の防備と経営の中心地、幕末外交の最前線となったのです。



4年間の工期をかけて、往時の建築を忠実に再現した箱館奉行所(2010年完成)

五稜郭の歴史

箱館五稜郭は徳川幕府が北方警備のために築造。だが後に榎本らがたてこもり、戊辰戦争最後の戦場となる。

- 一八五七年(安政四年)
- 五稜郭の工事開始
- 一八六四年(元治元年)
- 五稜郭の工事が一応終了し、箱館奉行所が郭内に開庁
- 一八六八年(明治元年)
- 榎本武揚、幕府残存艦隊「開国艦」以下八隻に、蝦夷諸艦、三千七艘を、十月二十日(旧暦蝦夷地開港式)木更森町に上陸
- 十月二十四日
- 箱館府知事清水谷公考、五稜郭を放棄し青森に退却
- 十月二十六日
- 榎本軍の大島、七重道を経て五稜郭に入城。城き川原山道より土方歳三入城。土方の指揮下にあった頼兵隊陸軍隊も翌日入城
- 十一月五日
- 土方歳三の指揮する新選組頼兵隊、陸軍隊等の諸隊七百名の猛攻により
- 松前城落城
- 十一月十五日
- 松前攻撃を支援する榎本軍の軍艦「開国」が江戸で座礁、破壊
- 十一月十五日
- 満期の女人札制度(遺等)により榎本総義以下閣僚を送出し軍艦に開港奉行「江差」松前にて揚台を置き、榎本軍は全蝦夷地を支配
- 一八六九年(明治二年)
- 榎本軍の過剰命令を免れし、明治新政府は、黒田了介(清隆)参謀、山田市之丞に海陸軍部を命じ軍を集結させる
- 同三月二十五日
- 榎本軍は政府軍の軍艦「甲鉄」を奪取するため北上途中の香港地宮古湾でこれを襲撃するが失敗
- 同四月九日
- 新政府軍第1陣乙部村に上陸
- 同四月十二日、二十五日
- 二股口守備の土方歳三陣、銃撃戦で政府軍の進軍を食い止める
- 同五月十一日
- 政府軍箱館総攻撃開始
- 土方歳三戦死
- 同五月十六日
- 千代田砲台陥落
- 中島三郎助父子戦死
- 同五月十八日
- 榎本軍降伏、五稜郭開城

【維新行列の見所】

一 箱館開港 事始め

維新行列の先頭は箱館奉行所の旗手。旗は天地を表す黒一本の線と日の丸です。続いて、竹内下野守保徳、巡撫部正利熙、村垣波路守範正の初期箱館奉行、五後郭の設計・監督者である箱館諸術調所教授武田斐三郎成章、最後の箱館奉行杉浦兵庫頭誠、そして「箱館奉行所補隊」です。

次いで、アメリカのペリ提督および旗手、アメリカ海軍備佐兵。さらにロシア公使プチャーチン海軍中将と旗手、ロシア海軍備佐兵。イギリス公使パークスと旗手、イギリス海軍備佐兵。フランス公使ロッシュと旗手、フランス海軍備佐兵。そしてオランダ商館長クルティウスと旗手、オランダ海軍備佐兵と続きます。

なお、実際に箱館に来航した人物はペリ提督とプチャーチン中将だけですが、以上の5カ国が、いち早く徳川幕府と修好通商条約、いわゆる「安政の五カ国条約」の締結に成功し、箱館は国際貿易港として開港されることとなります。

開港事始めの最後を飾るのは軍楽隊（五後郭鼓隊）です。

二 榎本政権 誕生

榎本軍の先頭は屋樫太郎が指揮する赤服金モールの「仙台翻兵隊」。英国式訓練を受けた部隊です。次に登場するのは「伝習歩兵隊」。仏軍より派遣された教官団によって訓練された幕府正規軍です。

榎本軍の行列中央、三ツ葉葵の旗を先頭に、総裁榎本武揚、副総裁松平太郎、海軍奉行荒井郁之助の閣僚が続きます。次に登場するのは春日左衛門半兵衛「幕府陸軍隊」です。百六十名が蝦夷地へ渡り、各地で奮戦します。次いで宮古湾海戦の新込姿を再現した「海軍伝習士官隊」が登場します。



次に登場する（左）の浅藍色陣羽織の一行は「会津遊撃隊」。隊長辰訪常吉以下七〇名は、会津の降伏を潔しとせず、脱藩して榎本軍に合流。隊長の派手な旗印の旗印を掲げて、箱館病院で没します。

続くは「衝鋒隊」。隊長の古屋佐久左衛門は洋学・兵学を学び幕府歩兵隊指図役に。大政奉還後は兵を募り奥羽越を転戦後、榎本軍に合流し蝦夷地に進駐。五後郭で新政府軍の艦砲射撃を受けて負傷、戦没。次は中島町にその名を残す「千代ヶ岡警備中島隊」。隊長中島三郎助は長崎海軍伝習所一期生で榎本の先軍。浦賀奉行所与力時代、ペリリに接続したその人です。

そして、誠の旗を先頭に現表と登場するのは「新選組」。先頭の袖無陣羽織姿は陸軍奉行並土方歳三を警護する部隊であった「鶴岡新選組」で、後ろの白山形だんだら染めの羽織姿は京都時代の新選組です。

三 征討軍（官軍） 上陸

いよいよ明治新政府の征討軍の登場。先頭を切るのは官軍のシンボル「旗の御旗」を奉戴する「鶴岡衝鋒隊」です。征討第一軍を率いるのは海陸軍参謀、長州藩山田市之丞。薩長両藩の士官がそれに続きます。黒地に赤線軍服は長州藩、鉄紺に黒線が薩摩藩です。続いて武田菱の家紋がついた黒陣笠に黒羽織の一行、官軍尖兵の「松前正義隊」が登場します。佐幕派の松前藩政に不満を持っていた、下国東一郎、三上超順ら少壮武士団を母体とする松前正義隊。一八六八年八月二日にクイデーターに成功し、藩論を二挙に勤王に統一。以来官軍蝦夷進攻の尖兵として活躍しました。

次いで「箱館府兵隊」が登場。明治元年閏四月、箱館府知事として赴任した清水谷公考は、箱館奉行より五後郭を接収。しかし兵力がないため現地募兵したのが箱館府兵隊です。清水谷府知事と、彼を護衛する「府知事御親兵」が続いて登場。御親兵とは明治新政府直属の軍隊で、後の近代軍隊の礎となるものです。さらに軍監有地野馬が率いる「津輕

藩士官隊」が登場。勇壮果敢な武運を誇り、戦功第一と評される働きを残しました。

征討軍の中央には、陸軍参謀黒田了介、海軍参謀増田虎之助、軍監前田雅楽、軍監田島敬蔵等の幕僚に諸藩の将が続きます。

四 開陽と黒船

維新行列の最後を飾る山車は、幕府がオランダに発注して建造した当時最強の軍艦「開陽」と、幕府に閉国を迫ったペリ提督の黒船の一隻「サスクエナ」です。この維新行列は大道具、小道具に至るまで、資料に基づきできるだけ時代考証のうえ制作。しかし祭りでもあるため、多少の演出も施しています。ことをご了承ください。

さらに、五後郭公園内特設ステージでの「開城セレモニー」もお楽しみください。



開陽丸（開陽）

あの日、日本の気骨は五稜郭に集結していた。

箱館 五後郭祭 憲章

箱館五後郭祭は、安政元年（一八五四年）日米和親条約に基づき、ペリリが其艦隊を率いて箱館に来航してより、明治二年五月（一八六九年）箱館戦争終結迄を題材として維新行列に再現した。其間郷土函館の基を築いた先人の遺徳を偲び、併せて戊辰、己巳の変に戦没した無名戦士の御魂の安らかならん事を祈り挙行するものであります。



碧血碑（へっけつひ）は、北海道函館市函館山に明治8年（1875年）5月に建立された戊辰戦争、特に箱館戦争における旧幕府軍の戦死者を記念する慰霊碑である。土方歳三や中島三郎助などをはじめとする約800人の戦死者を悼んでいる。

第13回

箱館

五稜郭祭

2012年5月19(土)・20(日)
行事予定

5/19(土)

碑前祭

- ◆「中島三郎助父子最後之地」碑前……………[10時～]
- ◆「碧血碑」前……………[10時50分～]
- ◆「土方歳三最期之地」碑前……………[11時30分～]
- ◆五稜郭タワー「箱館戦争供養塔」前……………[12時～]

五稜郭タワーアトリウムの催事

箱館五稜郭祭記念式典

- ◆開会宣言 ◆協賛会長挨拶 ◆錦旗授与 ほか……………[13時～]

土方歳三コンテスト全国大会……………[13時15分～]

前夜祭

- ◆土方歳三コンテスト
優勝者紹介・歓迎レセプション……………[18時～]

5/20(日)

維新行列・音楽パレード

中島町廣売通り……………[13時スタート]
維新行列出発地点



千代台公園
音楽パレード出発地点



行啓通り……………[13時15分～14時30分]
戦闘シーンのパフォーマンス



五稜郭公園特設舞台
開城セレモニー など

開城セレモニー

- ◆五稜郭公園特設ステージ……………[15時ころ～]

※開催において多少の変更がある場合もございます。

主催／箱館五稜郭祭協賛会

後援／函館市・函館商工会議所・社函館国際観光コンベンション協会

協力：陸上自衛隊第28普通科連隊・陸上自衛隊第11音楽隊